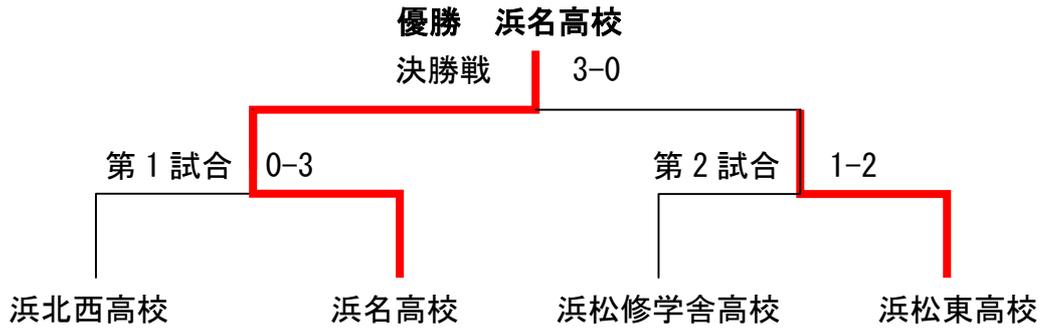


令和元年度 高校生俳句選手権結果 (令和元年9月21日開催)

1 大会結果



2 大会使用句

(1) 第1試合・第2試合 兼題「虫」

浜北西高校			浜名高校			浜松修学舎高校			浜松東高校		
大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒
虫よ生きる私も明日を生きるから	こんにちはは野菜の中に青虫が	コンビニの灯につられ虫・虫・虫	虫の夜寡黙な伯父の褒め言葉	我が恋の終りを告げて虫の声	カラオケのネオン「カ」の字に赤蜻蛉	日が沈み涙催す虫時雨	淡く咲くほたる飛びかい吾子なごむ	耳澄ませ生きる音聞く虫の声	虫時雨悲哀を包む交響曲	残り火を燃やし謡うやすがれ虫	遠くから子の泣く声や虫の夜

(2) 三位決定戦・決勝 兼題「雲」

浜北西高校			浜名高校			浜松修学舎高校			浜松東高校		
大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒	大将	中堅	先鋒
翳雲海にのまれた街を見た	夏の夢いつか乗りたい雲の上	追いかけてまだ追いつけぬ翳雲	鍬を振る皮厚き手や翳雲	空の青を食らふな雲よ台風よ	飛ぶ先はあの雲の先秋燕	秋麗日々の風景心癒る	無地の空飛行機雲の残り糸	空仰ぎ小さく見えた夏の雲	梅雨明けや一筆書きの飛行機雲	家近し峯雲に向かひ漕ぐペダル	宿題に追われ見上げる翳雲

3 試合経過

(先：先鋒句、中：中堅句、大：大将句)

第1試合		判定	兼題：虫	
浜北西高校		0 - 3	浜名高校	
先	コンビニの灯につられ虫・虫・虫	0 - 3	カラオケのネオン「カ」の字に赤蜻蛉	先
中	こんにちは野菜の中に青虫が	0 - 3	我が恋の終りを告げて虫の声	中
大	虫よ生きろ私も明日を生きるから	0 - 3	虫の夜寡黙な伯父の褒め言葉	大
講評	先	「カ」の字に止まる赤蜻蛉への注目と昼から夜への移り変わりが感じられた。		
	中	「虫の声」で自発的に恋の終わりを告げた、俳句としても良くまとまっている。		
	大	お互いに個性がよく出ているが、「景」がより具体的に見える句で差がついた。		
第2試合		判定	兼題：虫	
浜松修学舎高校		1 - 2	浜松東高校	
先	耳澄ませ生きる音聞く虫の声	0 - 3	遠くから子の泣く声や虫の夜	先
中	淡く咲くほたる飛びかい吾子なごむ	0 - 3	残り火を燃やし謡うやすがれ虫	中
大	日が沈み涙催す虫時雨	3 - 0	虫時雨悲哀を包む交響曲	大
講評	先	言葉に無駄なくまとめられている。「耳澄ませ」「聞く」が被ってしまった。		
	中	「残り火」「やすがれ虫」を同時に使うことで意外性を感じられた。		
	大	「虫時雨」対決となったが、情景や時間経過やより深い悲しみを感じられた。		
3位決定戦		判定	兼題：雲	
浜松修学舎高校		1 - 2	浜北西高校	
先	空仰ぎ小さく見えた夏の雲	1 - 2	追いかけてまだ追いつけぬ翳雲	先
中	無地の空飛行機雲の残り糸	3 - 0	夏の夢いつか乗りたい雲の上	中
大	秋麗日々の風景心癒る	1 - 2	翳雲海にのまれた街を見た	大
講評	先	雲に理想、「追いつけぬ」に意外性があった。心身の成長を詠っていて良い。		
	中	無季だが「無地の空」「残り糸」に詩心がある。表面的な感じがした。		
	大	「のまれた」は推敲の余地あり。「日々」や「雲」を使わない部分に拘り感じた。		
決勝戦		判定	兼題：雲	
浜名高校		3 - 0	浜松東高校	
先	飛ぶ先はあの雲の先秋燕	2 - 1	宿題に追われ見上げる翳雲	先
中	空の青を食らふな雲よ台風よ	3 - 0	家近し峯雲に向かひ漕ぐペダル	中
大	鍬を振る皮厚き手や翳雲	3 - 0	梅雨明けや一筆書きの飛行機雲	大
講評	先	自然の雄大さを詠った句。「秋燕」にたたみかける表現があった。手堅い句。		
	中	「食らふな」に勢いがある。「を」は省ける。「家近し」が上五にあり少し違和感。		
	大	独自性がある。「鍬を振る」に魅力感じた。目の付け所良いが中七の比喻が問題。		

4 審査員（敬称略）

今泉かの子、黒部祐子、高柳克弘